

# 前橋市自然環境調査

## (魚類・水生生物)

夏季速報

令和 7 年 11 月

株式会社  
**地域環境計画** 生きものと共生する  
地域づくり  
ちいかん



## 目 次

1. 調査内容	1
1) 調査対象	1
2) 調査地点	1
3) 調査日時	1
4) 調査方法	3
5) 市民調査（自然観察会）	5
2. 調査結果	6
1) 調査結果概要	6
2) 重要種	8
3) 外来種	13
4) 調査地点の環境	16
5) その他生物種の確認状況	17
6) 市民調査（自然観察会）	19
【資料 1】 調査地点図	資 1-1
【資料 2】 確認種一覧（魚類）	資 2-1
確認種一覧（水生生物）	資 2-2
【資料 3】 市民調査結果	資 3-1

## 1. 調査内容

### 1) 調査対象

調査対象は、魚類・水生生物とした。なお、ここでいう水生生物とは、底生動物と同義であり、軟体動物、環形動物、節足動物などの多様な生物を含む。また、上記対象種の調査中に、その他生物種（主に両生爬虫類、哺乳類）が確認された場合は記録を行った。

### 2) 調査地点

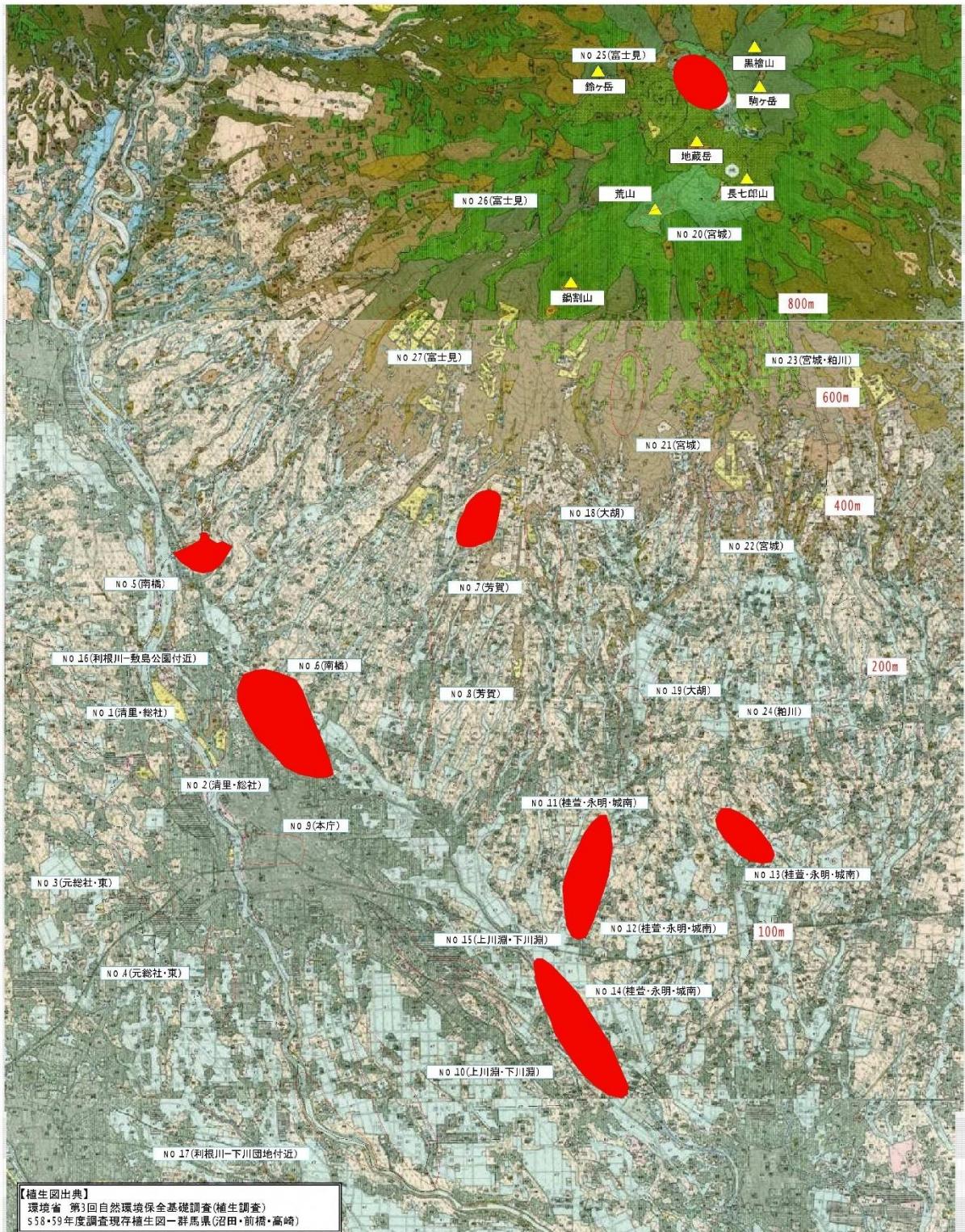
図 1-1 及び巻末の【資料 1】に示す 7 地点とした。

### 3) 調査日時

表 1-1 に示した日程で調査を行った。

表 1-1 調査実施日

調査実施日	調査地区	地点番号	河 川	天 候
令和 7 年 8 月 11 日 (月)	南橘	No. 5	中沢川	曇りのち晴れ
	芳賀	No. 7	大堤沼	晴れ
令和 7 年 8 月 12 日 (火)	南橘	No. 6	赤城白川	雨
令和 7 年 8 月 13 日 (水)	桂萱・永明・城南	No. 12	荒砥川	曇り
	桂萱・永明・城南	No. 13	五料沼	晴れ
令和 7 年 8 月 14 日 (木)	桂萱・永明・城南	No. 14	桃ノ木川	曇り
令和 7 年 8 月 15 日 (金)	富士見	No. 25	赤城大沼	晴れ



#### 4) 調査方法

調査方法は、表 1-2 に示した漁具を用いた。

##### ア. 魚類

捕獲した魚類は種名を確認し、全種について写真撮影を行った後に放流した。

##### イ. 水生生物

捕獲した水生生物は、種名の確認、写真撮影を行った後に放流することとしたが、現地での種の同定が困難な場合は、必要に応じて持ち帰り、同定を行った。

表 1-2 調査方法

使用漁具	捕獲対象	漁 法
投 網	若魚～成魚全般。障害物が少ない開けた水面で使用。	1地点あたり目合の異なる2種類（12mm・18mm程度）の投網により採捕を実施した。水路幅が狭い中沢川では使用しなかった。
タモ網	稚魚～成魚全般。石の下、水際植生の中、砂底など、様々な場所で使用。	目合1mm、口径30cm程度のタモ網を用いて採捕を実施した。全地点で使用した。
サデ網	電気ショッカーの受け網（感電状態で流された魚類の捕獲用）として使用。	目合2mm、口径100cm程度のサデ網を用いた。電気ショッカーを使用した桃ノ木川で使用した。
カゴ網・セルびん	コイ科等の小型魚種、稚魚全般	口径5cm程度のものを使用した。ほかの調査方法を実施している間に、餌として市販のさなぎ粉が入ったねり餌を入れ水中に沈め、中に誘引された魚類を捕獲した。全地点で使用した。
電気ショッカー	魚類全般	スミスルート社の電気ショッカー（商品名：背負い式エレクトロフィッシャーLR-20B型）を用いた。魚類が隠れていそうな場所で通電し、感電して流されてきた魚類をサデ網とタモ網を用いて下流側で受け、捕獲した。流量が比較的多く、他の漁法では捕りこぼしが多いと考えられる桃ノ木川で使用した。



投 網



タモ網



タモ網



カゴ網



セルビン



電気ショッカー

写真 1-1 各漁具による調査状況

## 5) 市民調査（自然観察会）

簡易水質検査や市内で見られる魚類、水生生物の調査を体験できる機会として、市民参加型の調査を企画した。

この調査では、普段の生活に係わる様々な自然環境の実態について、身近な調査テーマを通じて改めて見つめ直す機会を提供し、自然環境の保全について市民の意識向上を図ることを目的とした。

調査回数は秋季（9月28日）に1回とし、市民自然観察会「川のいきものを観察しよう！」として広報紙や案内チラシ等により参加者を公募した。

## 2. 調査結果

### 1) 調査結果概要

現地調査の結果、全調査地点を合わせて 5 目 8 科 22 種の魚類と 10 綱 24 目 73 科 143 種の水生生物が確認された。各調査地点の確認種数は、表 2-1 及び図 2-1 に示すとおりである。なお、確認種一覧は、巻末の【資料 2】に示す。

表 2-1 地点別の確認種数

調査対象	地区・地点	南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見	計
		No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	
魚類	科数	3	5	3	6	2	5	2	8
	種数	4	10	3	11	4	13	3	22
水生生物	科数	38	34	11	39	18	35	9	73
	種数	54	51	22	62	31	59	17	143



図 2-1 地点別の確認種数

#### ア. 魚類

今回の調査で最も多くの種数が確認されたのは、No. 14 (桃ノ木川) で 13 種、次いで No. 12 (荒砥川) で 11 種、No. 6 (赤城白川) で 10 種、No. 5 (中沢川) 及び No. 13 (五料沼) で 4 種、No. 7 (大堤沼) 及び No. 25 (赤城大沼) で 3 種であった。

水際に植生が多く、淵や瀬といった多様な河川環境が維持されていた No. 14、No. 12、No. 6 では種数が多く、流量が少ない河川 No. 5 や、溜池 No. 7、No. 13、湖沼 No. 25 では少なかった。

#### イ. 水生生物

今回の調査で最も多くの種数が確認されたのは、No. 12 (荒砥川) で 62 種、次いで No. 14 (桃ノ木川) で 59 種、No. 5 (中沢川) で 54 種、No. 6 (赤城白川) で 51 種、No. 13 (五料沼) で 31 種、No. 7 (大堤沼) で 22 種、No. 25 (赤城大沼) で 17 種であった。

水際に植生が多く、淵や瀬といった多様な河川環境が維持されていた No. 14、No. 12、No. 6 や、流量は少ないものの平瀬、淵、砂礫底、砂泥底などがみられた No. 5 では種数が多く、溜池 No. 7、No. 13、湖沼 No. 25 では少なかった。

## 2) 重要種

### ア. 重要種（魚類）

今回調査を実施した7地点中6地点で重要種が確認された。重要種の確認状況は、表2-2に示すとおりである。なお、「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に該当する種は確認されなかった。

表2-2 重要種の確認状況（魚類）

No.	綱名	目名	科名	種名	地点・地区名							重要種	
					南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見		
					No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②
1	頭甲	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類 <sup>(注3)</sup>	●	●						VU	EN
2	硬骨魚	コイ	コイ	スナゴカマツカ <sup>(注4)</sup>		●							NT
3		ドジョウ	ドジョウ属 <sup>(注5)</sup>				●					NT/DD	
4		ヒガシシマドジョウ	ヒガシシマドジョウ	●	●			●		●			NT
5		フクドジョウ	ホトケドジョウ					●				EN	EN
6	ナマズ	ギギ	ギバチ					●			●	VU	VU
7		アカザ	アカザ			●					●	VU	
8	ダツ	メダカ	ミナミメダカ					●				VU	CR
9	スズキ	ハゼ	ウキゴリ						●		●		DD
10			ムサシノジュズカケハゼ <sup>(注6)</sup>			●		●			●	EN	VU
合計	2綱	5目	8科	10種	2種	5種	1種	5種	1種	5種	0種	7種	8種

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおり。

①「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、

LP：絶滅のおそれのある地域個体群

②「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

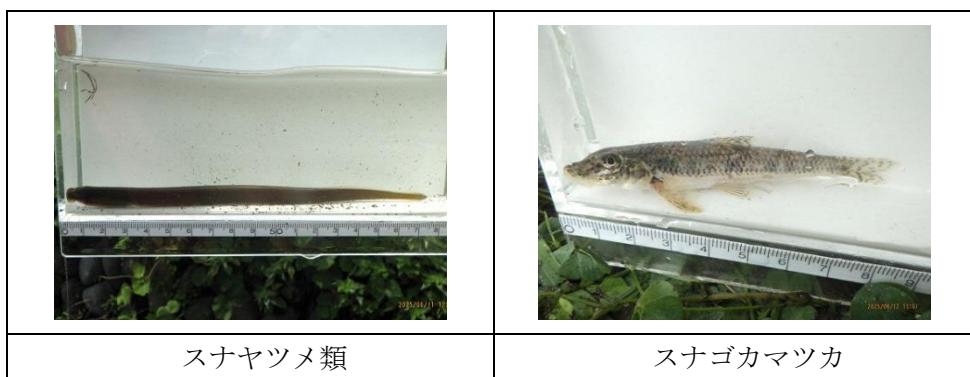
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

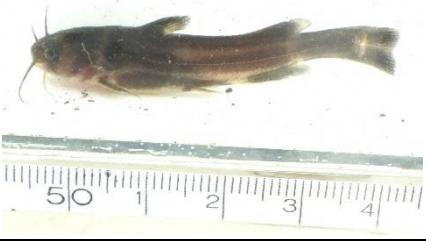
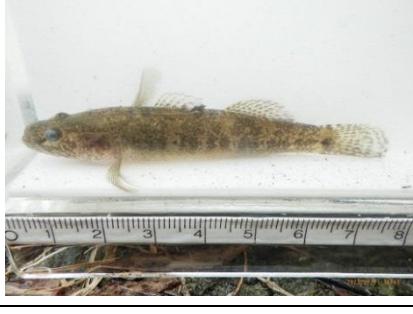
注3) スナヤツメ類は、2024年に分類が整理されたキタスナヤツメまたはミナミスナヤツメの可能性があるが、確認個体は同定形質が未発達なアンモシーテスと呼ばれる幼生であったことから、種までの同定には至らなかった。両種とも、重要種選定基準①ではVU、②ではENに該当する。

注4) スナゴカマツカは、従来カマツカとされていたものが、2019年に分類学的に細分されたものである。

注5) ドジョウ属は、ドジョウあるいはキタドジョウの可能性があるが、両者の同定形質として、雄の胸鰭基部にある骨質盤を見る必要があるが、確認個体が雌であったため、種までの同定には至らなかった。重要種選定基準①ではドジョウの場合がNT、キタドジョウの場合がDDに該当する。

注6) ムサシノジュズカケハゼは、従来ジュズカケハゼとされていたものが、分類学的に細分されたものである。



	
ドジョウ属	ヒガシシマドジョウ
	
ホトケドジョウ	ギバチ
	
アカザ	ミナミメダカ
	
ウキゴリ	ムサシノジュズカケハゼ

## イ. 重要種（水生生物）

今回調査を実施した全地点で重要種が確認された。重要種の確認状況は、表 2-3 に示すとおりである。なお、「文化財保護法」及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に該当する種は確認されなかった。

表 2-3 重要種の確認状況（水生生物）

No.	綱名	目名	科名	種名	地点・地区名							重要種		
					南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見			
					No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	
1	腹足	新生腹足	カワニナ	Semisulcospira属 <sup>注3)</sup> (従来のチリメンカワニナ)		●								VU
2		汎有肺	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	●					●			DD	DD
3	軟甲	二枚貝	イシガイ	Cristaria属 <sup>注4)</sup>								●	VU	
4		エビ	ヌマエビ	ヌカエビ								●	VU	
5			テナガエビ	スジエビ				●	●				NT	
6			サワガニ	サワガニ	●	●							NT	
7		昆虫	カメムシ（半翅）	コオイムシ	コオイムシ	●			●				NT	VU
8			タイコウチ	タイコウチ				●						NT
9		トビケラ（毛翅）	アシエダトビケラ	コバントビケラ			●							VU
10		コウチュウ（鞘翅）	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ	●								VU	VU
11			ガムシ	Hydrochara属 <sup>注5)</sup>	●								DD/NT	DD/VU
12			ヒメドロムシ	ケスジドロムシ				●			●		VU	VU
13			ホタル	ゲンジボタル		●								NT
合計	4綱	7目	13科	13種	5種	3種	1種	4種	2種	1種	2種	6種	12種	

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおり。

①「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、

LP：絶滅のおそれのある地域個体群

②「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

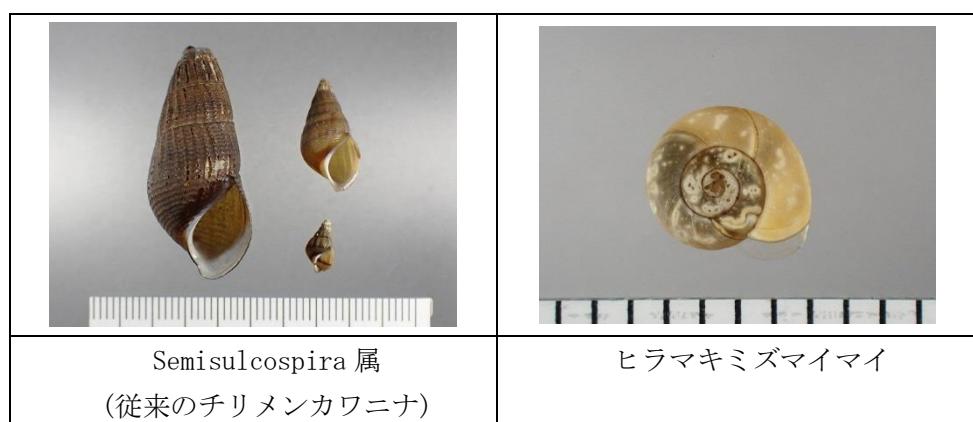
注3) Semisulcospira属（カワニナ属）は、2020年に遺伝学的にL1～L4のクレードに分かれることが明らかとなったが、ここでは、外部形態から従来のチリメンカワニナとそれ以外に便宜的に区分した。

注4) Cristaria属（カラスガイ属）は、メンカラスガイ、あるいはカラスガイ（関東では国内外来種）の可能性があるが、両者は形態的に酷似していることから属止めとした。

重要種選定基準①ではメンカラスガイの場合はVUに該当する。

注5) Hydrochara属（コガムシ属）は、幼虫のため種までの同定には至らなかった。コガムシ、あるいはエゾコガムシの可能性がある。

重要種選定基準①ではコガムシの場合がDD、エゾコガムシの場合がNTに、重要種選定基準②ではコガムシの場合がDD、エゾコガムシの場合がVUに該当する。



	
Cristaria 属 (カラスガイ属)	ヌカエビ
	
スジエビ	サワガニ
	
コオイムシ	タイコウチ
	
コパントビケラ	マダラコガシラミズムシ

	
Hydrochara 属 (コガムシ属)	ケスジドロムシ
	
ゲンジボタル	

### 3) 外来種

#### ア. 外来種（魚類）

今回調査を実施した7地点中1地点で外来種（以下、国外外来種を示す）が確認された。

外来種の確認状況は、表2-4に示すとおりである。

表2-4 外来種の確認状況（魚類）

No.	綱名	目名	科名	種名	地点・地区名							外来種			
					南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見				
					No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	③	
1	硬骨魚	コイ	ドジョウ	ドジョウ（中国大陸系統）	●										○
合計	1綱	1目	1科	1種	1種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 外来種の選定基準は以下のとおり。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月、法律第78号）

特定：特定外来生物、条件：条件付特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（平成27年、環境省）

緊急：緊急対策外来種、重点：重点対策外来種、その他：その他の総合対策外来種

③上記①②に掲載されていない国外外来種



#### イ. 外来種（水生生物）

今回調査を実施した全地点で外来種が確認された。外来種の確認状況は、表2-5に示すとおりである。

表 2-5 外来種の確認状況（水生生物）

No.	綱名	目名	科名	種名	地点・地区名						外来種			
					南橘		芳賀	桂萱・永明・城南						
					No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	③
1	有棒状体	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	アメリカツノウズムシ		●		●		●				○
2	腹足	汎有肺	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	●		●						その他	
3			サカマキガイ	サカマキガイ	●			●	●	●				○
4			ヒラマキガイ	ヒロマキミズマイマイ				●		●				○
5	二枚貝	マルスダレガイ	シジミ	タイワンシジミ	●	●		●		●			その他	
6	軟甲	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		●	●	●		●			その他	
7			エビ	ヌマエビ	Neocaridina属		●	●	●	●	●			○
8			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●	●		条件	緊急	
9	昆虫	カメムシ（半翅）	アメンボ	トガリアアメンボ			●		●					○
10	被喉	ハネコムシ	オオマリコケムシ	オオマリコケムシ							●			○
合計	6綱	7目	10科	10種	4種	5種	3種	7種	4種	7種	1種	1種	4種	6種

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 外来種の選定基準は以下のとおり。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月、法律第 78号）

特定：特定外来生物、条件：条件付特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（平成27年、環境省）

緊急：緊急対策外来種、重点：重点対策外来種、その他：その他の総合対策外来種

③上記①②に掲載されていない国外外来種





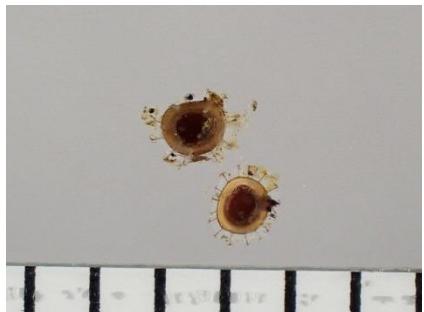
Neocaridina 属  
(カワリヌマエビ属)



アメリカザリガニ



トガリアメンボ



オオマリコケムシ

#### 4) 調査地点の環境

魚類・水生生物の生息環境の状況を確認するため、水質等の環境を記録した。各調査地点の環境は、表 2-6 に示すとおりである。この中で、pH、DO、COD は、魚類の生息環境を評価する上で重要な項目であり、水産用水基準（公益社団法人日本水産資源保護協会）にも採用されている。

pH は、全 7 地点中 6 地点（No. 5、No. 6、No. 7、No. 12、No. 13、No. 25）で、2018 年改定の水産用水基準（河川及び湖沼：6.7～7.5）の基準外となっていた。

DO は、上記基準では、一般魚種には 6mg/L 以上、サケ・マス・アユでは 7mg/L 以上とされている。今回の調査では全調査地点で 7mg/L を上回っていた。

COD は、上記基準では湖沼の環境基準が設定されており、自然繁殖には 4mg/L 以下（サケ・マス・アユの場合は 2mg/L 以下）、成育には 5mg/L 以下（サケ・マス・アユの場合は 3mg/L 以下）とされている。今回の調査では、パックテストで現地にて測定したため、詳細な数値では示されないものの、No. 14（桃ノ木川）及び No. 25（赤城大沼）では 2mg/L と低く、No. 12（荒砥川）では上記基準を超える 6mg/L と高かった。

表 2-6 調査地点の環境

調査項目	地区・地点	地点・地区名						
		南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見
		No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼
調査実施日	8月11日		8月12日		8月11日		8月13日	8月13日
天候	曇のち晴		雨		晴		曇	晴
水温(℃)	24		23		27.9		23.8	30.1
川幅(m)	2		1-5		-		2-20	-
流速(cm/s)	58.6		25.3-118.4		0		20-154.8	0
水深(cm)	8-41		10-111		110<		16-67	23-100<
臭気	無		無		無		無	無
水質	pH	7.76		7.84		8.76		7.73
	DO(mg/L)	10.35		8.67		13.38		9.7
	EC(mS/m)	19		18.4		17.2		23.9
	COD(mg/L)*	4		4		4		6
	SAL(%)	0.01		0.01		0.01		0.01
	NH4-N(mg/L)*	0.2		0.2		0.2		0.2
	PO4-P(mg/L)*	0.1		0.1		0.1		0.5
透視度(cm)	66.8		56.5		38.6		36.7	28.4
水生植物等の状況	少ない		多い		少ない		多い	普通
							多い	少ない

\* COD、NH4-N、PO4-P はパックテスト（株式会社共立理化学研究所）で測定

パックテストの測定範囲は、COD が 0-8mg/L、NH4-N が 0.2-10mg/L、PO4-P が 0.02-1mg/L

## 5) その他生物種の確認状況

魚類・水生生物調査時に確認されたその他生物種を表 2-7 に示した。今回の調査では、全 7 地点中、4 地点でその他生物種が確認された。

No. 5 中沢川では、周辺に水田がみられることから、水田を好むニホンアマガエル幼体 1 個体とトウキヨウダルマガエル成体 2 個体が河道内で確認された。また、周辺でニホンアマガエルの鳴き声も確認された。

No. 7 大堤沼では、ウシガエルの成体 1 個体と幼生 133 個体が確認された。また、水辺でアライグマの足跡も確認された。

No. 12 荒砥川では、トウキヨウダルマガエル成体 5 個体、ウシガエル幼生 1 個体、ムカシツチガエル幼体 1 個体と幼生 4 個体が確認された。

No. 13 五料沼では、ウシガエル幼生 6 個体と鳴き声が確認された。

表 2-7 その他生物種の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名							確認内容	備考
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見		
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼		
1	両生	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>	○							幼体、鳴き声	
2			アカガエル	トウキヨウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	○			○				成体	環境省：NT 群馬県：VU
3				ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>			○	○	○			成体、幼生、鳴き声	特定外来生物
4				ムカシツチガエル	<i>Glandirana reliquia</i>				○				成体、幼生	群馬県：VU
5	哺乳	ネコ（食肉）	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				○				足跡	特定外来生物
合計	2綱	2目	3科		5種		2種	0種	2種	3種	1種	0種	0種	-

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和7年度版」（令和7年、国土交通省）に準拠した。

注2) 備考欄、重要種の選定基準は下記のとおり。

「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、

LP：絶滅のおそれのある地域個体群

「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足



トウキヨウダルマガエル（成体）



ウシガエル（成体）

写真 2-1(1) その他生物種



ウシガエル（幼生）



ムカシツチガエル（成体）  
2025/08/13 11



アライグマ（足跡）



アライグマ（足跡）確認環境

写真 2-1(2) その他生物種

## 6) 市民調査（自然観察会）

### ア. 実施概要

市民調査（自然観察会）の実施概要は、表 2-8 に示すとおりである。

実施場所は、粕川地区にある粕川親水公園とした。

観察会では「水生生物調査」と「簡易水質調査」の 2 つの調査を実施した。

「水生生物調査」では、講師から採集方法の指導を受けながら、タモ網を用いて魚類、水生生物の任意採集を行った。採集した生きものについて講師から解説を受けながら観察を行った。また、「川の生きものを調べよう」の下敷きを使って、講師が代表して採集した生きものの同定を行い、水質階級ごとに区分・集計を行った。

「簡易水質調査」では講師の解説を聞いたのち、参加者全員が COD（パックテストを使用）を測定し、記録を行った。

表 2-8 市民調査（自然観察会）の実施概要

項目	概要
イベント名	市民自然観察会「川の生き物を観察しよう！」
実施日時	令和 7 年 9 月 28 日（日）9：30～11：30
実施場所	粕川親水公園（粕川町月田）
参加者	公募市民 11 組 29 名



写真 2-2 魚類・水生生物を採集する参加者



写真 2-3 生きもの観察をする参加者



写真 2-4 簡易水質検査（COD の測定）をする参加者

#### イ. 調査地点の環境

調査地点は、粕川親水公園の「ささら橋」より上・下流各 50m 程度（上流端は落差工直下）とした。なお、現地調査の地点との位置関係は、過年度調査の No. 23 と No. 24 の中間にあたる。

流れ幅 3~4m 程度で、低水敷はヨシ等の草本が繁茂していた。高水敷は護岸整備され、所々に階段が設けられ河川にアクセスできるようになっていた。調査範囲内のほとんどが平瀬で、水深は 5~10cm 程度、流速は目測で 10~20cm/秒であった。

調査範囲の河床は砂礫が主であったが、一部、コンクリートブロックの床固めが施されていた。また、水際にはヨシ等の植生がみられた。今回は好天に恵まれ、水も清澄であった。なお、下見に行った 6 月 19 日の時点では、河川改修の直後で、水際部に植生はみられなかつたが、観察会を実施した 9 月 28 日には植生が回復していた。

#### ウ. 調査結果

魚類はカワムツ、ドジョウ（中国大陸系統）、ヒガシシマドジョウ、ホトケドジョウ、トヨシノボリ類の 5 種が確認された。水生生物は、指標生物 6 種を含む 28 種（2 門 4 紺 12 目 21 科）が確認された。また、国内外来種に該当する両生類のヌマガエル（成体）が河道内で確認されたほか、公園の駐車場でニホンアマガエル（鳴き声）も確認された。

「川の生きものを調べよう（水生生物による水質判定）改訂版」（環境省・国土交通省編、令和 7 年）に基づき評価すると、本地点の水質階級は「I きれいな水」となった。

調査結果の詳細は、資料 3 に示す。



カワムツ



ドジョウ (中国大陸系統)



ヒガシシマドジョウ



ホトケドジョウ



トヨシノボリ類

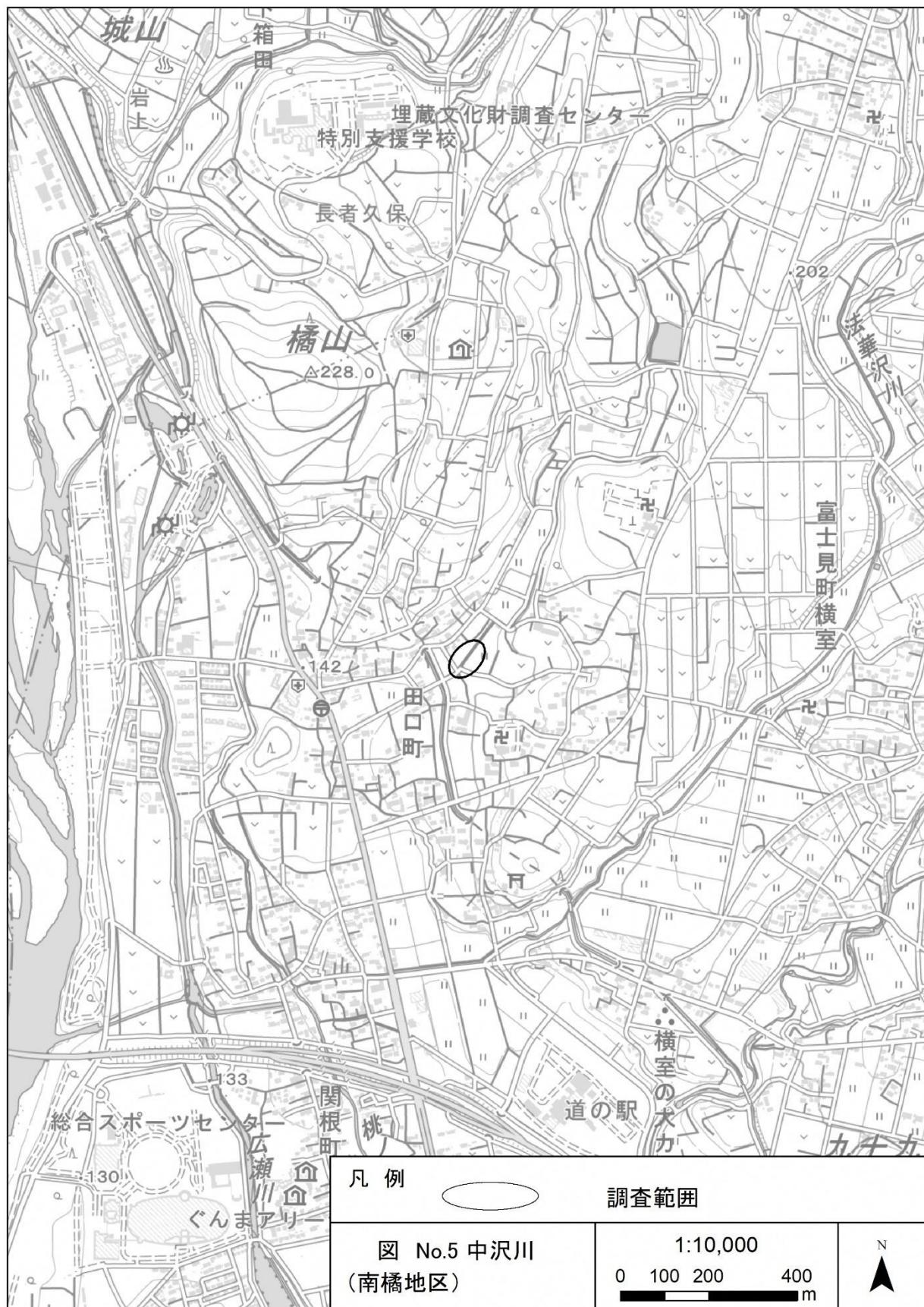


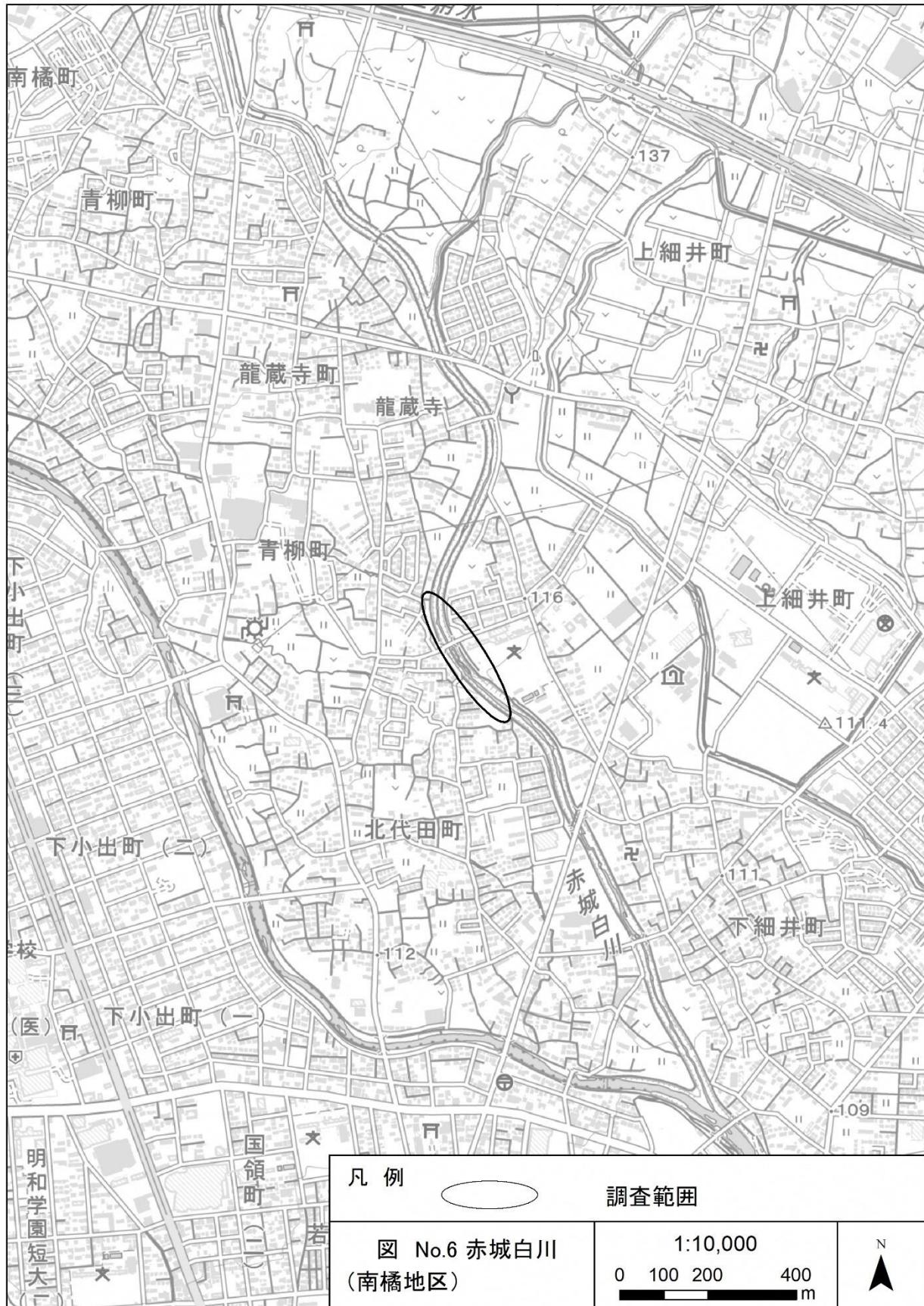
ヌマガエル

写真 2-5 市民調査で確認された魚類及び両生類

## 【資料 1】

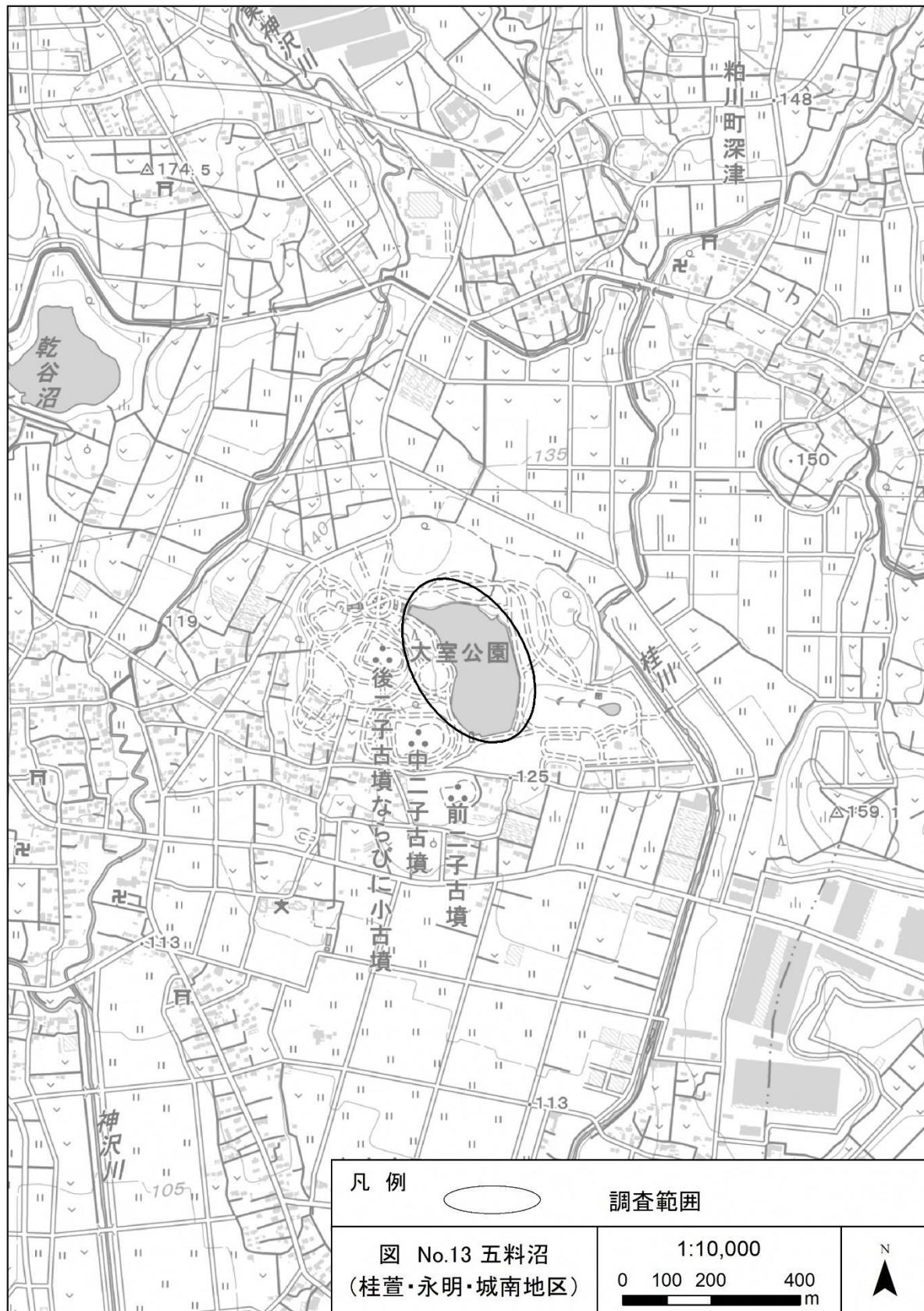
調査地点図

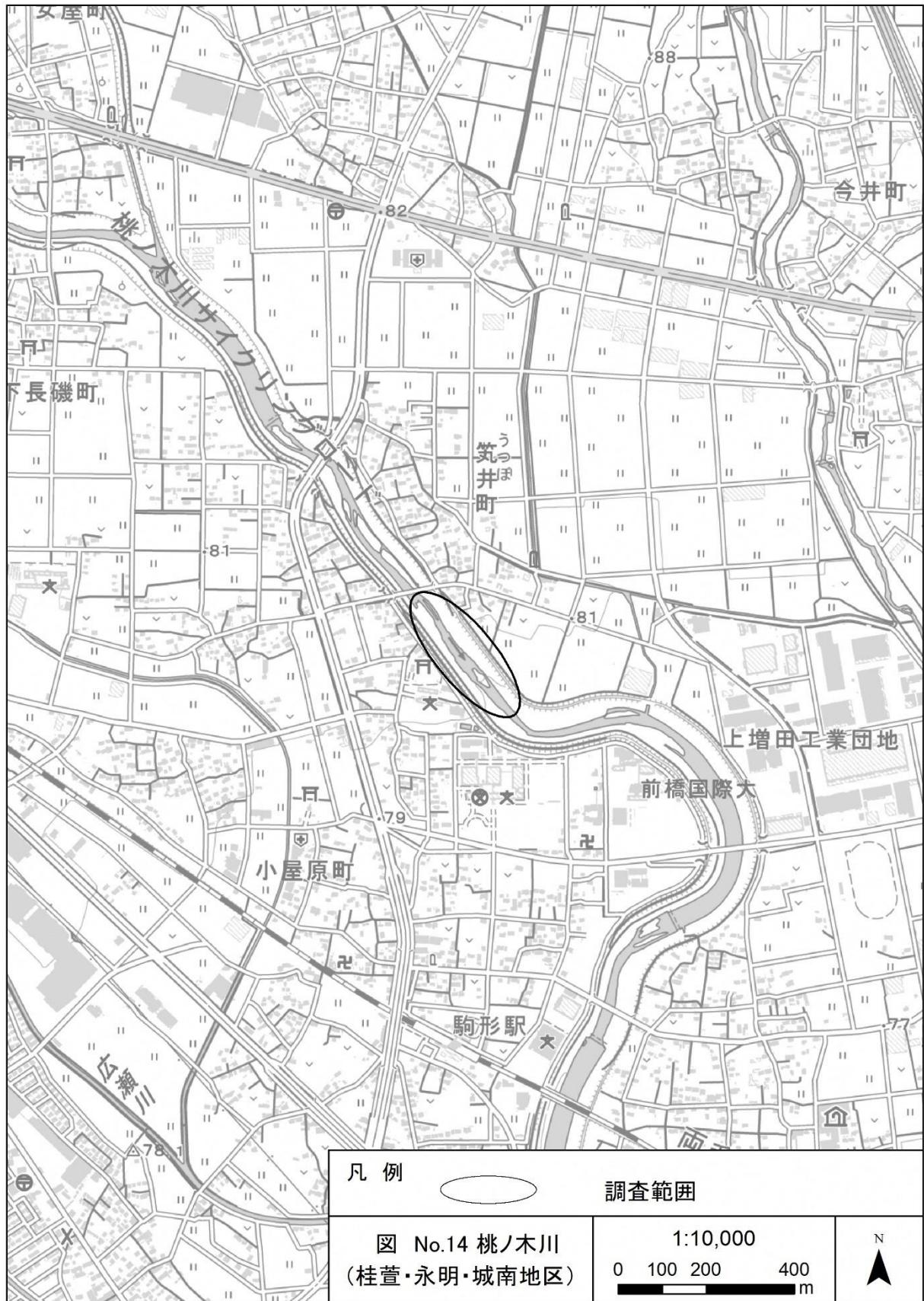














## 【資料2】

確認種一覽



資料2-1 確認種一覧（魚類）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名					重要種		外来種				
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南					外来種			
						No.5 中沢川	No.6 赤城白川	No.7 大堤沼	No.12 荒砥川	No.13 五料沼	No.14 桃ノ木川	No.25 赤城大沼	①	②	①	②	③
1	頭甲	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類 <sup>注4)</sup>	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S	1	1						VU	EN			
2	硬骨魚	コイ	コイ	コイ (型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>			2		8	4						
3				ゲンゴロウブナ <sup>注5)</sup>	<i>Carassius cuvieri</i>					5							
4				オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>		33		22		9	2					
5				カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>					9							
6				アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>		27				38						
7				ウグイ	<i>Pseudaspis hakonensis</i>		1										
8				モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>				49	55	9						
9				ムギツク	<i>Pungtungia herzi</i>		1				1						
10				タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>						13						
11				スナゴカマツカ <sup>注6)</sup>	<i>Pseudogobio polystictus</i>		1							NT			
-				カマツカ属 <sup>注7)</sup>	<i>Pseudogobio</i> sp.						4						
12			ドジョウ	ドジョウ (中国大陸系統)	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	14											○
-				ドジョウ属 <sup>注8)</sup>	<i>Misgurnus</i> sp.			1						NT/DD			
13				ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C	2	1		4		15			NT			
14			フクドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>					1				EN	EN		
15	ナマズ	ギギ	ギギ	ギギ	<i>Tachysurus tokiensis</i>					35		1	VU	VU			
16				アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>		7				1		VU				
17		ダツ	メダカ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>					2			VU	CR			
18				スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>								27				
19		スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>			2		2		3					
20				トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified	68		51	16	8		15					
21				ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>					49	2		DD				
22				ムサシノジュズカケハゼ <sup>注9)</sup>	<i>Gymnogobius</i> sp. 1		22		7		2	EN	VU				
合計	2綱	5目	8科	22種		4種	10種	3種	11種	4種	13種	3種	7種	8種	0種	0種	1種

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおり。

①「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

②「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

注3) 外来種の選定基準は以下のとおり。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月、法律第78号）

特定：特定外来生物、条件：条件付特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（平成27年、環境省）

緊急：緊急対策外来種、重点：重点対策外来種、その他：その他の総合対策外来種

③上記①②に掲載されていない国外外来種

注4) スナヤツメ類は、2024年に分類が整理されたキタスナヤツメまたはミナミスナヤツメの可能性があるが、確認個体は同定形質が未発達なアンモシーテスと呼ばれる幼生であったことから、種までの同定には至らなかった。

両種とも、重要種選定基準①ではVU、②ではENに該当する。

注5) ゲンゴロウブナは、重要種選定基準①ではENとして掲載されているが、当該水域では国内外外来種に該当することから、重要種に含めなかった。

注6) スナゴカマツカは、従来カマツカとされていたものが、2019年に分類学的に細分されたものである。

注7) カマツカ属は、同定形質が未発達な幼魚のため、属止めとした。

注8) ドジョウ属は、ドジョウあるいはキタドジョウの可能性があるが、両者の同定形質として、雄の胸鰭基部にある骨質盤をみる必要があるが、確認個体が雌であったため、種までの同定には至らなかった。

重要種選定基準①ではドジョウの場合がNT、キタドジョウの場合がDDに該当する。

注9) ムサシノジュズカケハゼは、従来ジュズカケハゼとされていたものが、分類学的に細分されたものである。



資料 2-2(1) 確認種一覧（水生生物）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名						重要種		外来種			
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南						外来種		
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	①	②	③
1	普通海綿	タンスイカイメン	タンスイカイメン	タンスイカイメン科	<i>Spongillidae</i> sp.							1					
2	有棒状体	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>			1		11		31					○
3	有針	ハリヒモムシ	マミズヒモムシ	Prostoma属	<i>Prostoma</i> sp.			2									
4	腹足	新生腹足	タニシ	ヒメタニシ	<i>Sinotaia histrica</i>	1			3								
5			カワニナ	Semisulcospira属 <sup>注4)</sup> (従来のチリメンカワニナ)	<i>Semisulcospira</i> sp.			9						VU			
-				Semisulcospira属 <sup>注4)</sup> (上記以外)	<i>Semisulcospira</i> sp.	4	6										
6		汎有肺	モノアラガイ	ハプタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	1		2								その他	
7			サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physella acuta</i>	9			1	6	2					○	
8			ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus spirillus</i>	3				12			DD	DD			
9				ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>				1		3					○	
10	二枚貝	イシガイ	イシガイ	Cristaria属 <sup>注5)</sup>	<i>Cristaria</i> sp.								3	VU			
11		マルスダレガイ	シジミ	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	1	4		3			3				その他	
-				Corbicula属	<i>Corbicula</i> sp.	1			6			7					
12			ドブシジミ	Pisidium属	<i>Pisidium</i> sp.								2				
13				ドブシジミ	<i>Musculium japonicum</i>								1				
14	ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>		1					1					
15				フトゲユリミミズ	<i>Limnodrilus grandisetosus</i>								1				
16				ユリミミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>	1			1			1	1				
17				ミツゲミズミミズ	<i>Nais bretschieri</i>	1											
-				Nais属	<i>Nais</i> sp.								1				
18				Rhyacodrilus属	<i>Rhyacodrilus</i> sp.								3				
-				ミズミミズ科	<i>Naididae</i> sp.				8	2	1						
19		厚環帶	ツリミミズ	ツリミミズ科	<i>Lumbricidae</i> sp.		2										
20			フトミミズ	フトミミズ科	<i>Megascolecidae</i> sp.	1											
-				厚環帶目	<i>Crassiclitellata</i> sp.	1	5					2					
21	ヒル	吻蛭	ヒラタビル	ハバヒロビル	<i>Alboglossiphonia lata</i>	1			1								
22		吻無蛭	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	6	2		10		7						
23			ナガレビル	キバビル	<i>Odontobdella blanchardi</i>		2										
24	軟甲	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>		1		2		8					その他	
25			ハマトビムシ	ニホンオカトビムシ	<i>Morinoia japonica</i>							1					
26		ワラジムシ	ミズムシ(甲)	ミズムシ(甲)	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>	1	1		7		6						
27			エビ	ヌマエビ	Neocaridina属	<i>Neocaridina</i> sp.		10		40	1	13				○	
28				ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>								19	VU			
29			テナガエビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>				1	6				NT			
30			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	1	3	1	1	5	4			条件	緊急		
31			サワガニ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	2	4							NT			



資料 2-2(2) 確認種一覧 (水生生物)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名					重要種		外来種			
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			①	②	①	②	③
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川					
32	昆虫	カゲロウ (蜉蝣)	シロイロカゲロウ	オオシロカゲロウ	<i>Ephoron shigae</i>		19					3				
33			マダラカゲロウ	クシグマダラカゲロウ	<i>Ephemerella setigera</i>							4				
-			Ephemerella属	Ephemerella sp.								7				
34			アカマダラカゲロウ	<i>Teloganopsis punctisetae</i>	15	9			15			18				
35			エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>			7		13			29				
36			コカゲロウ	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>							5				
37				フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>			12		17		37				
38				サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>			4		10		23				
39				シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	2	10		3			8				
40				Cloeon属	<i>Cloeon</i> sp.	2					1		1			
41				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>			5		1		5				
42				ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	1	3		15			9				
-				コカゲロウ科	<i>Baetidae</i> sp.						1					
43			チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>			3		2						
44			ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>		53		18			30				
45				ユミモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus nipponicus</i>			1				2				
-				Epeorus属	<i>Epeorus</i> sp.							11				
46				Rhithrogena属	<i>Rhithrogena</i> sp.							4				
47	トンボ (蜻蛉)	カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>			2		1		2					
-			アオハダトンボ族	<i>Calopterygini</i> sp.					1							
48			Mnais属	<i>Mnais</i> sp.			1									
49		ヤンマ	Anax属	<i>Anax</i> sp.						3						
50		サナエトンボ	Davidius属	<i>Davidius</i> sp.						1						
51			オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	1				5		2					
52			コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>					1		1					
53			ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>					1							
54			オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	1											
55		エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	1											
56		トンボ	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>					3							
57			コフキトンボ	<i>Deielia phaon</i>						3						
58			シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	4				1	1						
59			ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>					1							
60			コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>			3			5						
61	カワゲラ (セキ翅)	オナシカワゲラ	Amphinemura属	<i>Amphinemura</i> sp.							1					
62		カワゲラ	カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>					3							
-			Kamimuria属	<i>Kamimuria</i> sp.							3					



資料 2-2(3) 確認種一覧 (水生生物)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名						重要種		外来種			
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見					
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	①	②	③
63	昆虫	カメムシ (半翅)	アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>			1									
64				アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	1		2	1	2	1						
65			ヒメアメンボ	ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>	1				2	1						
66				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>						1						
67				トガリアメンボ	<i>Rhagadotarsus kraepelini</i>			7		4							○
68			イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>		1										
69				ミズカメムシ	<i>Mesovelia thermalis</i>						5						
70			カタビロアメンボ	ケシカタビロアメンボ	<i>Microvelia douglasi</i>			2	2	1							
71				ホルバートケシカタビロアメンボ	<i>Microvelia horvathi</i>				1	1							
72				エサキナガレカタビロアメンボ	<i>Pseudovelia esakii</i>			5		2							
73				ナガレカタビロアメンボ	<i>Pseudovelia tibialis</i>	4			2	11	1						
74			コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	2			2					NT	VU		
75			タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>				2						NT		
76				ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>	1											
77			ナベヅタムシ	ナベヅタムシ	<i>Aphelocheirus vittatus</i>		5						4				
78			マツモムシ	コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>						1						
79				マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>			1									
80			ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>		1										
81	トビケラ (毛翅)	シマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ	ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>	8											
-				Cheumatopsyche属	<i>Cheumatopsyche</i> sp.	12	23		9		4						
82			ウルマーシマトビケラ	ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	8	36		44		42						
83				ナカハラシマトビケラ	<i>Hydropsyche setensis</i>		1				17						
-			Hydropsyche属	Hydropsyche属	<i>Hydropsyche</i> sp.	5	1		4								
84				クダトビケラ	<i>Psychomyia</i> 属		1		3		15						
85				ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	12	14		1		21						
86			ヤマトビケラ	Agapetus属	<i>Agapetus</i> sp.						5						
87			ヒメトビケラ	Hydroptila属	<i>Hydroptila</i> sp.	2			1		1						
88			ナガレトビケラ	Rhyacophila属 (Angulata group)	<i>Rhyacophila</i> sp. (Angulata group)				2		1						
89				Rhyacophila属 (Nigrocephala group)	<i>Rhyacophila</i> sp. (Nigrocephala group)	1											
90			アシエダトビケラ	コバントビケラ	<i>Anisocentropus kawamurai</i>			5						VU			
91			ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	9	1		2		2						
92			カクツツトビケラ	Lepidostoma属	<i>Lepidostoma</i> sp.	2	2		2		3						
93			ヒゲナガトビケラ	Mystacides属	<i>Mystacides</i> sp.			1					1				
94				Oecetis属	<i>Oecetis</i> sp.								1				
95			ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>			5					14				



資料 2-2(4) 確認種一覧 (水生生物)

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名						重要種		外来種			
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南						外来種		
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	①	②	③
96	昆虫	チョウ (鱗翅)	ツトガ	Potamomusa属	<i>Potamomusa</i> sp.	1											
97		ハエ (双翅)	ヒメガバンボ	Antocha属	<i>Antocha</i> sp.		4					9					
98		ガバンボ	Tipula属	<i>Tipula</i> sp.	4	1											
99		ヌカカ	ヌカカ科	Ceratopogonidae sp.		1											
100		ユスリカ	Ablabesmyia属	<i>Ablabesmyia</i> sp.			1					3					
101			Fittkauimyia属	<i>Fittkauimyia</i> sp.			2										
102			Procladius属	<i>Procladius</i> sp.			3					6					
103			Rheopelopia属	<i>Rheopelopia</i> sp.	1												
104			Cricotopus属	<i>Cricotopus</i> sp.	1			3			1						
105			Rheocricotopus属	<i>Rheocricotopus</i> sp.				3			1						
106			Tvetenia属	<i>Tvetenia</i> sp.					2								
-			エリユスリカ亜科	<i>Orthocladiinae</i> sp.	6	1											
107			Benthalia属	<i>Benthalia</i> sp.			8										
108			Chironomus属	<i>Chironomus</i> sp.	2		2			28							
109			Cryptochironomus属	<i>Cryptochironomus</i> sp.	1	1											
110			Demicryptochironomus属	<i>Demicryptochironomus</i> sp.				1			2	1					
111			Glyptotendipes属	<i>Glyptotendipes</i> sp.			8										
112			Microtendipes属	<i>Microtendipes</i> sp.		1											
113			Paratendipes属	<i>Paratendipes</i> sp.	12		1										
114			Polypedilum属	<i>Polypedilum</i> sp.	27	19		7	1	15							
115			Rheotanytarsus属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	15			3									
116			Stictochironomus属	<i>Stictochironomus</i> sp.		1	1		1			1					
117			Tanytarsus属	<i>Tanytarsus</i> sp.		1	45	1	2	3	40						
-			ユスリカ亜科	<i>Chironominae</i> sp.			1					2					
118		カ	Culex属	<i>Culex</i> sp.						1							
119		ブユ	Simulium属	<i>Simulium</i> sp.			5		1								
120	ミズアブ		Actina属	<i>Actina</i> sp.	1												
121			Chorisops属	<i>Chorisops</i> sp.	1												
122			Odontomyia属	<i>Odontomyia</i> sp.					12								



資料2-2(5) 確認種一覧（水生生物）

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	地点・地区名							重要種		外来種			
						南橘		芳賀	桂萱・永明・城南			富士見						
						No. 5 中沢川	No. 6 赤城白川	No. 7 大堤沼	No. 12 荒砥川	No. 13 五料沼	No. 14 桃ノ木川	No. 25 赤城大沼	①	②	①	②	③	
123	昆虫	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	ホソセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus weymanni</i>						2							
124				コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>						1							
125				チビゲンゴロウ	<i>Hydroglyphus japonicus</i>	1												
126				モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>	1												
127				ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>					1								
128				コガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	1								VU	VU			
129				コツブゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i>						1							
130				ガムシ	キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>	1			2	5							
131					Hydrochara属 <sup>注6)</sup>	<i>Hydrochara</i> sp.	1							DD/NT	DD/VU			
132					マメガムシ	<i>Regimbartia attenuata</i>	1											
133					ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>	1			1	1							
134				ヒメドロムシ	Grouvellinus属	<i>Grouvellinus</i> sp.	5	4		27								
135					ツヤヒメドロムシ	<i>Heterlimnius nitidus</i>		1		12		20						
136					キスジミゾドロムシ	<i>Ordobrevia foveicollis</i>		4		19		2						
137					ケスジドロムシ	<i>Pseudamophilus japonicus</i>				1		2		VU	VU			
138					ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i>						1						
139				ヒラタドロムシ	マルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax ramicornis</i>		9				12						
140					ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>				8		4						
141					マスダチビヒラタドロムシ	<i>Malacopsephenooides japonicus</i>		6				1						
142				ホタル	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>		1							NT			
143	被喰	ハネコケムシ	オオマリコケムシ	オオマリコケムシ	<i>Pectinatella magnifica</i>		54種	51種	22種	62種	31種	59種	17種	6種	12種	1種	4種	6種
合計	10綱	24目	73科	143種														

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおり。

①「環境省レッドリスト2020」（令和2年、環境省）

EX : 絶滅、EW : 野生絶滅、CR+EN : 絶滅危惧 I類、CR : 絶滅危惧IA類、EN : 絶滅危惧IB類、VU : 絶滅危惧II類、NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足、LP : 絶滅のおそれのある地域個体群

②「群馬県レッドデータブック2022」（令和4年、群馬県）

EX : 絶滅、EW : 野生絶滅、CR : 絶滅危惧IA類、EN : 絶滅危惧IB類、VU : 絶滅危惧II類、NT : 準絶滅危惧、DD : 情報不足

注3) 外来種の選定基準は以下のとおり。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月、法律第 78号）

特定 : 特定外来生物、条件 : 条件付特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（平成27年、環境省）

緊急 : 緊急対策外来種、重点 : 重点対策外来種、その他 : その他の総合対策外来種

③上記①②に掲載されていない国外外来種

注4) Semisulcospira属（カワニナ属）は、2020年に遺伝学的にL1～L4のクレードに分かれることが明らかとなったが、ここでは、外部形態から従来のチリメンカワニナとそれ以外に便宜的に区分した。

注5) Cristaria属（カラスガイ属）は、メンカラスガイ、あるいはカラスガイ（関東では国内外来種）の可能性があるが、両者は形態的に酷似していることから属止めとした。

重要種選定基準①ではメンカラスガイの場合はVUに該当する。

注6) Hydrochara属（コガムシ属）は、幼虫のため種までの同定には至らなかった。コガムシ、あるいはエゾコガムシの可能性がある。

重要種選定基準①ではコガムシの場合がDD、エゾコガムシの場合がNTに、重要種選定基準②ではコガムシの場合がDD、エゾコガムシの場合がVUに該当する。

## 【資料3】

### 市民調査結果

### 資料 3-1 市民調査における確認種一覧（水生生物）

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	指標生物	水質階級	個体数
1	軟体動物	腹足	新生腹足	カワニナ	Semisulcospira属	<i>Semisulcospira</i> sp.	○	II	9
2			汎有肺	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>			1
3		二枚貝			Radix属	<i>Radix</i> sp.			2
4			マルスダレガイ	シジミ	Corbicula属	<i>Corbicula</i> sp.			2
5	節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	Neocaridina属	<i>Neocaridina</i> sp.			20
6				サワガニ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	○	I	5
7		昆虫	カゲロウ（蝶蛾）	モンカゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>			1
8				チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>			10
9				ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>			10
10		トンボ（蜻蛉）	カワトンボ	ハグロトンボ	Atrocalopteryx atrata				1
11				アオハダトンボ族	<i>Calopterygini</i> sp.				2
12				ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>				2
13			サナエトンボ	オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostatus</i>				10
14				アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>				1
15				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	●	II	32	
16			エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>				10
17			トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>				5
18			カワゲラ（セキ翅）	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	○	I	7	
19		カメムシ（半翅）	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>				10
20				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>				1
21			タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>				3
22			ミズカマキリ		<i>Ranatra chinensis</i>	○	III	2	
23			ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	●	I	11	
24			トビケラ（毛翅）	シマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>				1
25			ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>				1
26			ハエ（双翅）	ガガンボ	<i>Tipula</i> 属				5
27		コウチュウ（鞘翅）	ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>				1
28				モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>				1
			ガムシ	ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>				2
合計	2門	4綱	12目	21科		28種		6種	28種

注1) 種名及び分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和6年度版」（令和6年、国土交通省）に準拠した。

注2) ○: 指標生物、●: 指標生物のうち、数が多かった上位2種

### 資料 3-2 「川の生きものを調べよう」による水質判定結果

粕川親水公園 (粕川)	水質階級	I	II	III	IV	判定結果 I きれいな水
	指標種の数（○と●の個数）	3	2	1	0	
	指標種のうち個体数の多い種（●）	1	1	0	0	
	合計	4	3	1	0	

